



135号

2021年 1月・2月



し ものい い ものし  
知る者言わず言う者知らず Those who know do not speak, those who speak do not know



2021



明けましておめでとう御座います！

## 先生のデスクから

今日のグローバルゼーションでは、外国語を知っていると競争に有利になるのが常だ。日本語を学ぶことは、基本の文字が英語のような他のヨーロッパ言語を学ぶこととはかなり異なる。このパンデミック中に特にオンラインで日本語を教えることは、生徒と教師の両方にとって大きな課題だ。ネットワーク、視聴覚、交流、コミュニケーションソフトウェアの使用、プライバシー、セキュリティなどは、オンライン授業を効果的にするために特別な注意を必要とするし多くの問題がある。日本語の学習を始める前に、まず目標を設定する必要がある。なぜ日本語を選びたいのか、頭の中ではっきりしていなければならない。目標には目指す習熟度とそのレベルに到達するまでの時間枠の2つの部分が必要だ。日本語の特別な点の1つは、漢字と呼ばれる絵文字または表意文字。新しい言語を勉強するには近道はない。だから新しいことを学び、すでに学んだことを復習するために明確な毎週の時間割など良い授業計画が必要だ。最後には、日本の伝統、歴史、文化的遺産、文化を知ることが日本語を学ぶ上で欠かせない要素だ。

パピヤ ダスグプタ (ゴージュ)  
ラビンドラ岡倉バワン

## 学生が話すこと

私は言葉を習うことが好きなので日本語を勉強している。英語を話す国以外の国との仕事のチャンスを広げたい。私はインドで自分の小さな会社を作り経営している。日本語を学んだら日本で技術通訳者として仕事の機会が

得られるかもしれない。日本で数年通訳者の仕事をした。そして、言語の勉強は頭にとって良い運動にもなると信じている。残りの人生で少なくとも一つの言語を学び続けたい。スペイン語とドイツ語も目標の一つだ。私達は世界を自分の考え方を通して見ている。各言語は世界をその言語によって解釈する。そのことをはっきり分かりたい。

ラジブ シンハ  
ラビンドラ岡倉バワン

## NKK 活動オンラインで

### ビジョヤ サツミラニ

スケジュールどおり、毎年恒例のビジョヤサツミラニはオンラインの「google-meet」で行うことができた。遠くからでもアクセスできるので、いつもより多くのメンバーが参加できた。アルナバさん、非常に面白い懐かしい思い出の小道をありがとう！

### 第24回目印日学生会議

NKKS はバーチャルで第24期目の印日学生会議を開催する計画を立てている。

<https://www.facebook.com/747663985648834/posts/1139230523158843/?flite=scwspnss>

### 日本語歌コンテスト

NKKS は、2021年1月30日にコルカタで日本領事館と共催で最初のオンライン歌コンテストを開催する。詳細については、NKKS のウェブサイトを確認下さい。

### ジャパンフィルム フェスティバル

国際交流基金による日本映画祭をオンラインで見てください！

<https://www.facebook.com/436642440210312/posts/849978778876674/?flite=scwspnss>

Nihongo Kaiwa Kyokai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata- 700 019  
E-mail: write2nkks@gmail.com Visit us online: <http://www.nkks.org.in>

## 中村 温総領事とのインタビュー



中村温総領事は今年3月に在コルカタ日本総領事として任命された。しかし COVID-19 パンデミックのせいで、前任の笈賀総領事がチェンナイに出発した後7月1日に総領事としての任務を開始された。総領事は様々な国で豊富な

経験をお持ちだ。学歴から日印二国間関係の強化に向けて積極的に取り組むという希望に至るまで、様々なトピックについて話して下さった。

会話の抜粋：

Q: ご出身地は？

A: 私は京都で生まれました。

Q: 総領事の大学の専攻科目は何でしたか。

A: 専攻科目は政治学と法学でした。私は1985年3月に日本の琉球大学法学部を卒業しました。

Q: 総領事は以前インドに来られたことがありますか。

A: インドは今回が最初の赴任となりますが、1995年～1997年仕事の関係で何回もインドを訪問したことがあります。

Q: 総領事は日本の外務省(MOFA)で豊富な実務経験をお持ちですね？

A: はい、1985年4月に外務省(MOFA)に入省しました。コルカタに来る前は、米国アトランタの日本総領事館で首席領事を務めていました。また在サンフランシスコ日本総領事館の領事、在オーストラリア日本大使館の一等書記官、在フィジー日本大使館の三等書記官、在ガーナ日本大使館の参事官(次席)、在ウガンダ日本大使館の公使参事官(次席)、在バングラデシュ日本大使館の一等書記官を務めてきました。

Q: コルカタでのご経験は？

A: パンデミックのせいで、通常の活動には制限があります。ですから私はまだ街をよく知りません。しかし私はこの状況が早く正常に戻るのを心待ちにしています。コルカタの人々の温かさや親切なおもてなしについて長い間聞いてきました。当地の豊かな文化的遺産についても読

んだことがあります。

Q: インドやコルカタの印象はどうでしょうか。

A: コルカタはインドの文化の中心地であるということが受け継がれていて、インドと日本の間の知的および文化的交流の玄関口です。私たちは仏教がインドで始まったことを知っています。ラビンドラナート タゴールは、5回の訪日を通じて日印の友好と協力に多大な貢献をしてくれました。ネタジ スバス チャンドラ ボースの日本への思いやりも知っています。またラダ ビノード パル判事が東京裁判で日本を深く理解し、第二次世界大戦後のインドとの絆を強めた歴史もあります。これらの高名な名士たちはコルカタ出身でした。

Q: このパンデミックの状況における日印外交関係をどのように見られていますか。

A: インドと日本の二国間関係を強化するための体系的な努力がなされてきました。例えば COVID-19 予防措置に関連する協力、グローバルサプライチェーンに寄与するための日本からインドへの投資をさらに促進させる、日本政府開発援助スキームである「経済社会開発プログラム」に基づいたインドへの援助等があげられます。

Q: これからの将来計画は？

A: 私は既存の前向きな関係を維持しながら「特別戦略的グローバル・パートナー」としての日印間の政治的、経済的、文化的関係の強化に貢献したいと考えています。また、西ベンガルを中心に、東インドへの日本の投資を拡大していきたいと思います。

Q: 大学の楽しい思い出がありますか？

A: 大学生の頃、私は水泳クラブに通ってました。私は水泳が大好きでした。

Q: ご両親とご家族は？

A: 私の父は医師で母は看護師でした。私は1人の娘と2人の息子の3人の子供がいます。

Q: 趣味は？

A: 私の趣味は水泳で今はゴルフもしています。

Q: 日本語の学生へのご提案はありますか？

A: 実際日本語をよく知るためには、日本の文化や技術に精通する必要があります。これにより多くの日本企業での仕事の機会が広がります。

アローク バス



# ロックダウン 日記-4



## バブリ チョウドウリ:

Covid 19 の発生から数ヶ月が経ち、世界は挫折させられ、人々は緊急の仕事の場合を除いて家にいることを与儀なくされた。私は主婦で、家で家族の世話をしてきたが、このニューノーマルに対応しようとしている。お手伝いさんに来てもらえないので、私は一日中とても忙しく、自分自身を肉体的にも精神的にも健康に保つ必要がある。

このロックダウンは本当に厳しくて私たちは嫌なく生活を簡略化させられている。数日間家に閉じ込められ退屈していた。しかし否定的な感情に負けることはいやだった。買い物や映画館に行くことは出来ないが、代わりに家でインターネットで映画を楽しめる。従って午後はずっと映画やアニメを見て時間を過ごしていて今はポケモンにかなり夢中になった。

私はガーデニングにとっても興味がある。庭の小さな場所に家庭菜園ができたらいいなと思った。キッチンから集めたレモンと唐辛子の種、又タマネギの球根を蒔き始めた。4ヶ月近く経った時、種から小さな苗木が生えているのが見え、この苦しい時期に大きな喜びを感じた。数日前に作ったチキンミートボールのスープを庭のネギで飾ることができ、私の喜びは際限がなかった。私は料理やお菓子作りに時間を費やすのも好きだ。最近外食ができなくなったので、家でカジュバルフィ、ベサンラッドウー、グラブジャムン、ラスマライなどの甘いものを作っている。ケーキをアイシングしたり、クッキー、プリン、パイ、メレンゲケーキ作りなどが、私の時間のほとんどを占めている。グルメマニアの家族だ！

また私は電話で年配の親戚や友人と連絡を取り、彼らと話し彼らの健康について尋ねるための時間がある。もちろん夫も必要に応じて手伝ってくれる。私は常に前向きでいようとし、自分の小さな方法で知り合いの人々の間にポジティブな気持ちを広めるように試している。

バブリ チョウドウリ

## アヌパム ダス:

マスクを着用することがニューノーマルになる状況について誰も考えたことがなかったし、私も同じだ。このパンデミックは私たちによく考えさせるために来た。どんな状況にあってもそれに立ち向かい続けてください。私個人としてはリラックスして、最初のロックダウンの日々を楽しんでいた。これが私にこんな打撃を与えるとは思わなかった。小さいながらも起業家である私は、自分のビジネスが下降しているのを見はじめた。従業員は出勤するのをやめた。クライアントともその影響で通信が停止した。それから私は違った考え方をしなければならぬことに気が付いた。自分のビジネスを始めた当時の苦労を思い出し、元気を取り戻した。現在の仕事の計画を再構築し、状況をコントロールした。また、別のベンチャーを立ち上げて将来的には新会社を設立する予定だ。すでに良い反応を得ている。このロックダウンは今や私にとって祝福だと思う。このお陰で私は日々強くなっているような気がする。



仕事のことにはさておき、私は自分自身がこの時間をより活用していることに気づいた。自分の趣味も思い出した。昔は絵を描くことが大好きだったが、今はそれを忘れてしまっていた。ウクレレやココリコなどの新しい楽器の練習し、ギターを弾いて妻と一緒に歌ったり、小さな子供とタブラをたたいたりして楽しんでいる。これらのことが大きな喜びを私に与えてくれることを、いつも忙しいスケジュールのせいで逃していたことに気がついた。一言で言えば、このパンデミックは私たち自身に毎日の仕事やら、ライフスタイルやら、趣味、生活すべてにおいて探求する機会を与えてくれたと思う。

アヌパムダス



このロックダウンは今や私にとって祝福だと思う。このお陰で私は日々強くなっているような気がする。仕事のことにはさておき、私は自分自身がこの時間をより活用していることに気づいた。自分の趣味も思い出した。



日本語クロスワード  
(1月 - 2月)

1	2	3	4		5
6					
7				8	
9			10		
		11			
12					

**ACROSS**

- 1) Brilliant/glorious
- 6) Personality
- 7) Nobleman
- 8) Spoon
- 9) Pine
- 10) To run
- 11) Demanding for non-existent loan
- 12) Labour festival

**DOWN**

- 1) Sword fish
- 2) New Year's Day
- 3) Kettle
- 4) To draw
- 5) Striking/remarkable
- 8) Umbrella
- 10) To pay
- 11) Corner

モハシユウエータ バス ムカルジー

(11月-12月)

日本語のクロスワードの答え

1	2	3	ん	4	5
ぼ	う	ね	ん	か	い
6				7	
う	つ	る		た	き
8			9		
は	り		き	ぼ	う
10		11		12	
つ	か	み		う	め
	13		14		
	わ	き	ま	え	
15			16		
き	り		ゆ	き	み

綴り換え-69

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



ことわざは?

1. ずねみ (Mouse)

○ □ □ □

2. かれるこあ (To admire)

□ □ ○ □ □ □

3. もとをとして (Based on)

○ □ □ □ □ □ □

4. しきかぶ (Stock)

○ ○ □ □ □

5. ばんるすでんわ (Answering machine)

○ □ □ □ □ □ □ □ □

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え-68

- 1. ねびき
- 2. こうさてん
- 3. あじさえ
- 4. あたりまえ

ね こ じ た



編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター